

DX、はじめるならここから！

9-10月はDX推進指標 秋の集中実施期間です

IPA



DX推進指標



DX推進指標とは

DX推進指標は35項目の自己診断項目に回答していくことで、DX推進に向けた自社の課題や、次に実施すべきアクションがわかるものです。経営の観点19項目と、ITの観点16項目の35項目からなります。

DX推進指標のメリット

メリット 01

認識共有ができる



自社のDXができていないか？
関係者が集まって議論することで、認識の共有ができます。

メリット 02

アクションの議論ができる



DXの推進に向けて何をしたらよいか？
次のアクションへの議論を行うことで、実際のアクションに繋がられます。

メリット 03

進捗の把握ができる



去年に比べて自社のDXは進んだか？
毎年診断を行うことで、自社のDXの取り組みの進捗管理ができます。

自社の立ち位置がわかる「ベンチマーク」がもらえる！

自己診断を実施し、診断結果をIPAに提出した企業には、他の提出企業のDX取り組み状況と、自社の取り組み状況を比較できる「ベンチマーク」を提供しています。



無償で
ベンチマーク
入手！

全国での位置づけ、業界内での位置づけがわかる！
DX先行企業との比較ができる！

▶▶ 次年度の事業計画立案に活用できる！

10月31日
締め切り*1

速報版
11月中頃
提供予定



企業の自己診断結果を収集・分析した「自己診断結果 分析レポート」も公開中！

毎年「DX推進指標」の自己診断をしている企業は、DXの成熟度が高くなっています。「DX推進指標」を使って、DX推進をスピードアップしましょう！

*1 速報版ベンチマークに向けた提出期限。10月31日以降も提出を受付ます。

IPA「DX推進指標のご案内」
<https://www.ipa.go.jp/digital/dx-suishin/about.html>

お問い合わせ先

独立行政法人情報処理推進機構(IPA) DX推進指標担当

✉ disc-dx-info@ipa.go.jp



解説動画
公開中！

